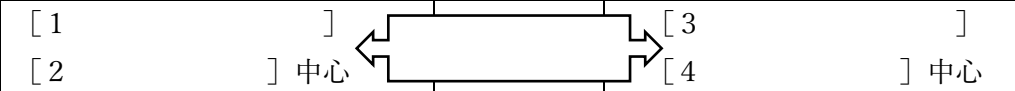


No	教科書 P98~100 第2編 第2章 主題5~7 国際社会の動向と平和の追究 1. 今日の国際社会	日時	()月()日()曜日
----	--	----	---------------

本時の問い (MQ)	
------------	--

1. 東西冷戦 *WWII後、約50年続く米ソの覇権争いのこと

ノート



[46]「鉄のカーテン」演説		
[47]トルーマン・ドクトリン	政治	[47]コミンフォルム結成
[47]マーシャル・プラン	経済	[49]経済相互援助会議 (コモコン)
[49]北大西洋条約機構 (NATO)	軍事	[55]ワルシャワ条約機構

米ソの代理戦争			
朝鮮戦争	ベトナム戦争	「ベルリンの壁」構築	キューバ危機

[1989] [5] → 米が唯一の超大国に!

※ 米がリードした [6 世界の] と [7] が進展

2. 大国の覇権争いと脅威の複雑化・多様化

- ①中国：世界第 [8] 位の経済大国へ、ロシア：軍事的な立場を強化
- ② [9 種・ 族・ 教] の違いによる対立 → 「世界の [10]」

【語句確認】
アメリカ同時多発テロ事件は()と
呼ばれることが多い。

3. 対立と分断を超えて

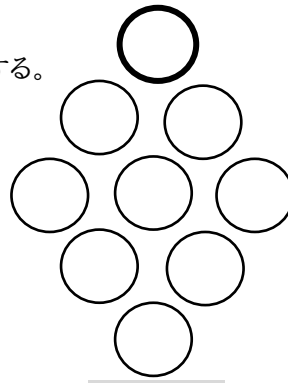
- ①グローバル化による相互依存関係の深化・拡大 → [11] が重要
- ②国家・国際連合・NGO・企業・[12] の連携・協力

【まとめ】第二次世界大戦後、国際社会においてアメリカとソ連の二大国が覇権を争う (①) が起きた。ソ連の消滅後はアメリカが唯一の超大国として国際社会をリードし、経済面では (②) が進展した。一方で紛争や (③) の多発など、脅威が複雑化・多様化している。国際的な課題を解決するため、国家や国際連合だけでなく、(④) の活躍や市民の連帯が期待されている。

【Let's ランキング!】「暴力」をなくすためにできることを「ダイヤモンドランキング」で考察してみよう。

次のA~Iを読み、1番最初にした方がいいと思う記号を一番上の○に入れよう。
(2位は2つ、3位は3つ、4位は2つ、5位は1つ○に入れる。)

- A: 「反戦」や「平和」を訴えるデモやイベントを実施する。
- B: 選挙で国際問題の平和的解決に関心の高い立候補者を応援する。
- C: SNSや新聞に投稿して多くの人に平和の大切さを訴える。
- D: 自国の軍事力を強化する。
- E: 貧困国へ食料、衣料品などの援助をしている団体へ寄付する。
- F: 「戦争」や「平和」について、身近にいる人たちを話す。
- G: 国際交流活動を推進し、外国人と友達になる。
- H: 争いのリーダーに平和解決に向けて努力するよう働きかける。
- I: 子供たちを対象とした「平和教育」を推進する。



自分の考え

メンバーの名前	記号

メンバーの考え